

令和7年度岐阜県体力向上プロジェクト指導者派遣事業実践報告書

派遣講師

垂井町立北中学校／中川 怜香 教諭

1 研修対象

- 実施校：安八町立結小学校
- 実施日時：令和7年12月4日（木）13：40～
- 研修タイプ：出前授業タイプ（受講者数 教員10名 児童30名）
- 研修内容

2 研修内容

- ① 授業参観（第3学年）
- ② ACPの概要説明
- ③ 実技講習
- ④ 質疑応答

3 研修で扱った 運動遊び（ACP）

- ・言うこと一緒、やること一緒 ・体じゃんけん
- ・あっちむいてぴよん ・ことろことろ
- ・ねことねずみ ・魚とり ・ラン&スロー

4 研修の成果と課題

- どの子ども指示をよく聞き、意欲的にACPの活動に取り組むことができていた。
- ACPの活動では、運動が得意な子とそうでない子が視覚的に分かりにくいことや、誰もが勝ったり負けたりすることの喜びや悔しさを味わうことができ、そのことが誰もが意欲的に取り組むことができることにつながっていると感じた。
- 他のACPの研修に参加した先生が校内でも伝達をしていたり、新聞ボールが作ってあったりするなど、ACPをすでに行っている学年もあった。その上で今回の研修で、活動している児童の姿を見たり、教員自身も体験したりすることを通して、より実践のイメージが膨らみ、これからの授業に生かすことにつながると感じた。
- ACPを継続して行うためには、運動遊びにアレンジを加えることで、飽きずに取り組むことができる。様々な運動遊びにどのようなアレンジの仕方があるのかを考えたり、交流したりする時間を職員研修の中に位置付けた方がよい。



5 研修後の学校の様子

- ・以前からACPを行っている学年もあったが、今回の研修を通して、授業に積極的に取り入れている。特に主運動につながるACPを準備運動として行っている。また、校長先生が授業以外にも縦割り班での活動に取り入れることを話していただき、授業以外の時間にも取り入れようとする様子がうかがえた。今後継続して取り組む難しさとして、体育の準備を教師が行っている時に、子どもたちだけでACPの活動を行うことができればよいが、そのことが難しく、教師がつけない場合はこれまでと同じように、ランニングと体操という準備運動になってしまっているということであった。